



TSUZUKI Wastewater Treatment Plant

水再生センター

## 概要

都筑水再生センターは、鶴見川とその支流である恩田川との合流点近くに位置し、都筑区の佐江戸・川和地区、青葉区の市ヶ尾・青葉地区、緑区の中山・長津田地区、旭区の二俣川・東希望が丘地区などを処理区域としています。

当センターは、昭和 52 年 5 月に本市で 6 番目の水再生センターとして、また最初の完全分流式水再生センターとして運転を開始しました。

- 所在地 横浜市都筑区佐江戸町 25 番地  
TEL : 932-2321  
FAX : 931-8919
- 敷地面積 87,000m<sup>2</sup>
- 処理方式 活性汚泥法による高度処理及び高級処理
- 放流水域 鶴見川
- 計画処理面積 8,096ha
- 計画処理人口 597,100 人
- 計画処理能力 242,100m<sup>3</sup>/日
- 運転開始 昭和 52 年 5 月
- 汚泥処理 北部汚泥資源化センターへ圧送して処理

## 下水処理区域



## 平面図



## 特色

- 高度処理 平成8年1月運転開始  
窒素・りんの大幅な除去を目的とした高度処理を、本市で初めて導入しました。
- 江川せせらぎ 放流量 約 2,500m<sup>3</sup>/日  
高度処理水をさらに砂ろ過・オゾン処理し、江川せせらぎに放流しています。  
江川せせらぎは、四季を通じて地域住民の憩いの場として親しまれています。

## 施設・設備概要

## ●主要設備

名称	構造数	能力等
沈砂池	幅 3.0m×長 18m×深 2.42m×6池	滞留時間 約1分
汚水ポンプ	口径 900mm×108m <sup>3</sup> /分×2台 口径 1,200mm×204m <sup>3</sup> /分×3台	最大揚水量 13.8m <sup>3</sup> /秒
最初沈殿池	幅 13.8m×長 27.5m×深 3.1m×8池 幅 9.2m×長 27.5m×深 3.4m×6池 幅 3.6m×長 32.1m×深 4.0m×3池 (上階層) 幅 4.6m×長 28.2m×深 4.0m×3池 (下階層)	滞留時間 約2時間
反応タンク	幅 7.0m×長 43.5m×深 5.0m×4水路×4池 幅 9.0m×長 38.0m×深 10.0m×3水路×4池 幅 9.5m×長 47.5m×深 12.0m×2水路×2池	滞留時間 平均約9時間
最終沈殿池	幅 13.8m×長 39.0m×深 3.6m×8池 幅 13.5m×長 51.0m×深 3.8m×8池 幅 4.1m×長 39.7m×深 3.5m×8池 (上階層) 幅 4.6m×長 35.8m×深 3.5m×8池 (下階層)	滞留時間 約5時間
接触タンク	幅 2.0m×長 48.5m×深 4.0m×4水路×1池 幅 2.0m×長 53.0m×深 4.0m×4水路×1池 (幅 5.0m×長 15.0m×3水路+幅 7.0m×長 9.7m)×深 4.0m×1池	接触時間 約20分
雨水ポンプ (第二ポンプ施設)	口径 400mm×21m <sup>3</sup> /分×1台 口径 1,000mm×136.8m <sup>3</sup> /分×1台 口径 1,400mm×227.2m <sup>3</sup> /分×3台	最大揚水量 16.49m <sup>3</sup> /秒



江川せせらぎ

## ●都筑水再生センター所管のポンプ施設

名称	所在地	能力
二俣川地下道ポンプ場	旭区二俣川2丁目65番地 (雨水排水)	1.2m <sup>3</sup> /分
笹野台揚水ポンプ施設	旭区笹野台一丁目19番地先 (汚水揚水)	0.9m <sup>3</sup> /分
万騎が原揚水ポンプ施設	旭区万騎が原106番地先 (汚水揚水)	1.4m <sup>3</sup> /分
鶴ヶ峰本町揚水ポンプ施設	旭区鶴ヶ峰本町二丁目34番地先 (汚水揚水)	2.0m <sup>3</sup> /分
南本宿揚水ポンプ施設	旭区南本宿7番地15地先 (汚水揚水)	0.6m <sup>3</sup> /分
本宿町揚水ポンプ施設	旭区本宿町1番地17 (汚水揚水)	0.8m <sup>3</sup> /分

